

第 12 回会議における指摘事項とその対応方針

平成 30 年度

市川市市政戦略会議

I. 本答申の背景と目的

第 12 回会議 資料 2				指摘への対応
頁	行	内容	回答者	【頁数、行数は今回送付した答申案のもの】
1	13	「扶助費等の歳出増」は、元の文章は「扶助費等の社会保障関係費」である。扶助費は一例で、社会保障関係費の方が大きい分類ではないか。	澤田委員	【1 頁 11 行】 指摘のとおり修正する。
1	16	・社会面という言葉になじみがなく、「社会面では・・・」⇒ 「社会情勢を踏まえて」の方が良いのではないかと思いましたが、3 ページの表内にも使用されているので、統一感があって良いのかもしれないと思っています。	阿部委員	原案のとおりとする。
3	10			
2	6	「高度化、多様化、地域社会の結びつきの変化」という言葉がありますが、具体的な説明があるほうが、分かりやすいのではないのでしょうか。「変化によって、業務が市民との対話や協働になる」というように。	釜堀委員	原案のとおりとする。
3	7			
3	25			
2	7	「職員が担う業務の増加」の業務は、業務量かそれとも業務の質なのか。	澤田委員	原案のとおりとする。
2	9	「・職員構成が変化することに伴い、男女共同参画のさらなる推進や多様化するハラスメントへの対応などが必要であること」と「40 代、50 代の職員比率の低下により、管理職不足や技術・知識の継承等に支障が生じること」の順番を入れ替えると良いのでは。前者は性別にかかわることなので、4 番目の指摘事項とやや関連するので。	坂爪委員	【1 頁 31 行】 指摘のとおり、順番を入れ替える。
2	9	「職員構成が変化することに伴う、男女共同参画のさらなる推進」とあるが、論理が飛躍しすぎだ。単に女性労働の活用のことではないのか。	澤田委員	【1 頁 33 行】 未審議の部分を考慮した上で、
2	13	「すべての職員にとって働きやすい環境を整備すること」を「すべての職員にとって働きやすく、 <u>その時々</u> の状況に応じて持っている力を発揮できる環境を整備すること」としてはどうか。	坂爪委員	・職員構成が変化することに伴い、男女共同参画のさらなる推進や多様化するハラスメントへの対応などが必要であること
2	13	「働き手となる層」というと、働き手とならない層もあるのか。	澤田委員	・本市にとって働き手となる層のが、性別を問わず、子育て・介護等を担う世代となることから、すべての職員にとって働きやすい環境を整備すること の二つの文を統合する。
3	27	「多様化するハラスメントへの対応」という箇所について、ハラスメントに限定せず、『多様化への対応』でよいのではないのでしょうか。	吉田委員	

5	1	1 行目以下の「効率的な業務」を成立させる要因のイメージ図について、説明文からの流れで、案 1 の方が良いと思った。	阿部委員	【4 頁】 正副会長に一任されたため、2 ページの「現状のイメージ」図とあわせ、上から下に流れる＜案 1＞を採用。
5		構成のイメージは＜案 1＞が良い。	宇田川 委員	
5		5 ページの図は 2 案のほうが良いと思います。	釜堀委員	
5		P4 32～33 行のような説明文章であれば、イメージ図は＜案 2＞が良いと思います。	吉田委員	

Ⅱ. 業務効率の向上について

第 12 回会議 資料 2				指摘への対応
頁	行	内容	回答者	【頁数、行数は今回送付した答申案のもの】
6		6 ページは、文章、図とも分かりやすいです。	釜堀委員	特になし
7~8		7,8 ページは図が分かりにくいです。	釜堀委員	【6 頁】 文章と図が対応するように、それぞれ修正する。
7	17	「単純に記された内容」→単に記載された内容	澤田委員	上の修正に併せて、文章そのものを修正。
7	18	「30 分で終わられない場合、なぜ終わられないのか」→30 分で終わらない場合、なぜ終わることができないのか	澤田委員	
8		構成のイメージ図ですが、4 行目～8 行目の説明と連動していなく、文章がわかりづらい。例えば 5 つの要因とは何なのか。「第 10 回会議資料 P6 ○主な問題点・課題と対応策」が抜けているので唐突な感じがする。	宇田川委員	【7 頁】 五つの要因と『いちかわ BASiCS』の各章の関係が分かるように修正する。
9	23	「合致する箇所」→合わせた内容で	澤田委員	下の吉田委員の意見と合わせて修正する。
9	23	私の案ですが、管理職がそれぞれの部署の業務に合致する箇所を明示し、自分の部署では、どの箇所から取り組む、あるいはどの箇所を必ず実践する、などの運用上の方針を表明する。 または、管理職が「いちかわ BASiCS」をどのように使用するのかを決め、運用計画を作成した上で実施する、というようなことはできませんか。	吉田委員	【8 頁 26 行】 指摘のとおり修正する。二つ目の案を記載する。
9	24~30	この部分の内容について、誰がすることなのか。主語を記載した方がよいのではないかと思います。	吉田委員	答申後、市で適切な部署に割り振ることから、原案どおりとする。
9	27	「ワークショップで検討」→ブレインストーミングやオフサイトミーティング	澤田委員	【8 頁 31 行】 指摘のとおり修正する。
9	28	ダイジェスト版の用意は必要か。本編と二つもつくるのは無駄ではないか。負担を感じる職員は、元々やらない可能性が高い。重要な部分は目立つようにすればいいのではないか。	澤田委員	ダイジェストを作成するか否かは、市の判断に委ねることとし、ダイジェストを作成するという文は削除する。